第３２回市民自治推進委員会　産業躍動部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年１２月２２日（水）１８時００分～ |
| 開催場所 | 登別市役所　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | （部 会 長）川田　弘教（部 会 員）小川　昌宏、木村　俊子、近井　一夫、宮下　裕次（庁内委員）大澤　玲裕（事 務 局）大越　智輝、佐々木　健、徳野　隼也　　　　　　　　　　　　　 |
| 欠席者 | （副部会長）吉田　武史（部 会 員）鈴木　高士（庁内委員）渡部　光夫 |
| 議題 | ・今後の取り組み案について |

【動画配信事業の結果報告について】

●資料「動画配信事業の結果報告について」のとおり事務局から説明後、「新北海道スタイルを実践する飲食店の紹介動画」及び「家庭における地産食材の消費拡大に向けた料理動画」を視聴し、以下のとおり意見を聴取した。

（意見）

・「のぼりべつ牛乳ドレッシングのお刺身サラダ」は牛乳がメインなので、ソースがもっと写るようにしてほしかった。

・アレンジレシピの紹介はいいと思う。

・コロナ禍で料理を作る男性も多くなったとのことなので、動画を配信したタイミングは良かったと思う。

・ハッシュタグをたくさんつけるともっとよいと思う。

・今後は別の地場産品の食材でも動画配信をしたい。

・もっと家庭的で作りやすい料理でもよいと思う。

・学生の調理実習で作ってもらってもよいと思う。

・動画で紹介した料理を、どこかの飲食店で食べれたらよいと思う。

・たくさん視聴してもらうためのポイントは動画の長さ。長い動画だと視聴してもらいにくい。

・食レポのみの短くて見やすい動画を配信し、「作り方はこちら」のようにして調理動画に導くと視聴数が伸びるかもしれない。

・「飲食店で提供されているあのメニューを食べてみた」という感じで飲食店のメニューを紹介する動画もいいのでは。

・市でインスタ、ツイッターも活用しては。

・動画の視聴回数を伸ばすこととイベントにたくさん人を呼ぶことは似ているが、例えば幼稚園で塗り絵コンテストのようなイベントをやって、当日表彰式をやると家族が集まる。その家族もイベントのお客さんとなる手法があるが、その手法を動画に取り入れてみては。

・湯鬼神の鬼花火の動画再生数は４千回を超えている。湯鬼神に料理を食べさせるのも面白いかもしれない

・料理動画の制作は今の時代に合うよい取組なので、継続したほうがよい。

・飲食店動画でうちを紹介してほしいという声があった。

・閲覧数を増やすのには毎日同じ時間に新しい動画をアップするとよい。

・今回はコロナ禍での取組であったが、コロナが落ち着いた後であれば、そのメニューを食べられるお店の紹介にもつなげられると思う。

・ホテルの料理で出されるようなレシピだと実際に調理するのは難しいので、簡単に作れる料理にするとよい。

・家庭で料理する人は、簡単なメニューを作る人と、凝ったメニューを作る人の２パターンがあると思うので、それぞれの動画があるとよい。

・今後の取組案の「地場食材（ブリ）を使用した料理教室」について、今まで鮭や秋刀魚、鰊を食べて育った人は、今更ブリを食べようと思わないのでは。

・今後の取組案の「市役所本庁舎の移転後の跡地利用」について、市民としては気になる。跡地には市民が求めているものを作るべきだと思う。

・跡地利用については、時々意見をいただく程度でよいのではないか

・新北海道スタイルを実践する飲食店の紹介動画の再生数は多い。

・動画の最後に連絡先を入れておくと他店舗からも依頼がくるのではないか。

●次回日程：登別温泉調理師登庖会の渡辺調理長より今後も部会の事業にご協力いただける見込みであることから、具体的な事業案を検討し、次回の部会で部会員に協議していただく。